令和５年度シラバス（　外国語　）　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	外国語　（　論理・表現Ⅰ）	単位数	２単位	年次(コース)	１　年　次
使用教科書	三省堂『 MY WAY Logic and Expression Ⅰ 』				
副教材等	三省堂『 MY WAY Logic and Expression Ⅰ Workbook 』				

１　学習目標

英語による発信力を高めるために、以下のような言語活動を通して英語で的確に効果的に表現する技能や自主的に学ぼうとする態度を育成することを目指す。
（1）日常的な話題について、考えや気持ちを伝え合うやりとりを続ける技能を身につけるようにする。
（2）日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を順序立てて分かりやすく論理的に人前でスピーチできるようにする。
（3）社会的な話題や日常的な話題について、英文の構成にのっとって論理的かつ具体的に書く技能を身につけるようにする。

２　指導の重点

・今まで学んだ表現 － 単語、フレーズ、文法 － を復習し、さらに新しい知識も学び理解を深めるためにワークシート学習をします。
・習得した基礎力を、自己表現・自己発信するための道具ととらえる意識を確実にするため、その道具を実際に使ってペアやグループで話す練習を多くします。
・発信するための情報を論理的、具体的、効果的に組み立てる技能の基礎を習得するため、短い文章を書く練習を多くします。
・学んだことを振り返りながら自主的に向上心を持って実践する態度を育てるため、自己評価、他己評価をします。

３　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・目的や場面、状況などに応じた表現を理解している。また効果的に発信するための論理の組み立て方を理解している。表現と論理を関連付けて発信する技能を習得している。	・　具体的な課題に対して自分の意見を発信するために、必要な情報を整理しながら考えを形成し伝える要点や意図などを明確にしながら、論理的に表現する能力を身につけている。	・　学んだことを身につけるために、粘り強く課題や練習に取り組む。また自分の取り組みの過程や結果を振り返り、自らの学び方を調整しようとしている。

４　評価規準と評価方法

	知識 ・技能　a	思考 ・ 判断 ・ 表現　b	主体的に学習に取り組む 態度　c
評価の観点	上に同じ	上に同じ	上に同じ
評価方法	以上の観点を踏まえ ・　ペーパーテストの分析 ・　スピーチ発表内容や発表技能の分析 ・　英作文の内容の分析 などから､総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ ・　ペーパーテストの分析 ・　授業ワークシートへの取組の分析 ・　スピーチ発表内容の分析 ・　英作文課題の内容の分析 などから､総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ ・　授業中の発言の観察 ・　ペアワーク等への取組の観察 ・　振り返りシートの記述の分析 ・　提出課題への取組の分析 などから､総合的に評価します。

５　学習計画

学期		単　元　名	時数	学　習　活　動　(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間考査Ⅰ	L１　Let's Talk about Ourselves L２　School Life	１０	・現在形(be 動詞)を使って表現する。 ・現在形（一般動詞）を使って表現する。 ・過去形（ be 動詞、一般動詞 ）を使って表現する。 ・現在進行形、過去進行形を使って表現する。 ・初対面のあいさつをする。会話の基本を学ぶ。 ・発表の基本を学び自己紹介のスピーチをする。 ・部活動を紹介する記事を書く。	a c a c a c a c b c b c b c	授業観察 ワークシート

前期	中間考査Ⅱ	L 3 The Arts L 4 Food and Culture	１１	・未来表現を使って表現する。基本時制について確認する。 ・現在完了形（完了、経験）を使って表現する。 ・現在完了形（継続）、現在完了進行形を使って表現する。 ・好きな絵について発表する。聞き手の注意を引く方法を学ぶ。 ・レストランで注文するときのいろいろな表現を学ぶ ・日本の食文化を紹介するレポートを書く。	a c a c a c a c b c b c	授業観察 ワークシート
	期末考査	L 5　Welcome to Our Town L6　Travelling Abroad	１３	・・助動詞や受動態を使って表現する。 ・不定詞を使って表現する。 ・道案内や場所を詳しく説明する表現を学ぶ。 ・（原因・理由）→（結果）の関係を示す。 ・買い物の会話をする。買い物で使える表現を学ぶ。 ・手紙やメールのいろいろな表現を学ぶ。	a c a c b c b c b c	授業観察 ワークシート
後期	中間考査	L7　Sports L8　Everyday Technology	２１	・動名詞を使って表現する。 ・分詞の後置修飾、分詞構文を使って表現する。 ・比較を使って表現する。 ・スポーツの試合について会話をする。 ・車椅子競技を紹介する発表をする。 ・相手の意見を受け入れてから主張する。 ・複数の理由を列挙する。	a c a c a c b c b c b c	授業観察 ワークシート
	期末考査	L9　Take Care L10　SDGs---Take Action!	１５	・関係代名詞を使って表現する。 ・関係副詞を使って表現する。 ・仮定法を使って表現する。 ・病院でのいろいろな表現を学ぶ。 ・健康について発表する。 ・段落の形で自分の考えを伝える。 ・SDGs について会話をし、発表する。	a c a c a c b c b c b c b c	授業観察 ワークシート

計　７０　時間（50 分授業）

※　領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A「話すこと（やりとり）」	B「話すこと（発表）」	C「書くこと」
	３０　時間	２０　時間	２０　時間

※　増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6　課題･提出物等

・授業ごとのワークシートに丁寧に取組み、指示に従って提出することになります。
・自学としてワークブックに自主的に取組み、定期考査当日に提出することになります。
・単元または活動後に振り返りシートに記入し、提出。そして自分の次の活動に活かしましょう。

7　担当者からの一言

とにかく失敗を恐れずに活動しましょう。英語は自分の気持ちや考えを他の人に伝えるために、また人の考えを聞いて理解したり質問して理解を深めたりするために学びます。特にこの科目は、伝えるための効果的な方法　―　表現の組み立て方、声の出し方、書き方を習得する技能教科です。先生やうまい人のまねを何回もして、少しずつでも自分のものにしていってください。

（担当：岩見）

令和５年度シラバス（　外国語　）　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	外国語　（　論理・表現Ⅱ）	単位数	２単位	年次(コース)	２　年　次
使用教科書	三省堂『 MY WAY Logic and Expression Ⅱ 』				
副教材等	三省堂『 MY WAY Logic and Expression Ⅱ Workbook 』				

１　学習目標

英語による発信力を高めるために、以下のような言語活動を通して英語で的確に効果的に表現する技能や自主的に学ぼうとする態度を育成することを目指す。
（１）日常的な話題について、考えや気持ちを伝え合うやりとりを続ける技能を身につけるようにする。
（２）日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を順序立てて分かりやすく論理的に人前でスピーチできるようにする。
（３）社会的な話題や日常的な話題について、英文の構成にのっとって論理的かつ具体的に書く技能を身につけるようにする。

２　指導の重点

・論理表現Ⅰで学んだ表現 － 単語、フレーズ、文法 － を復習し、さらに新しい知識も学び理解を深めるためにワークシート学習をします。
・習得した基礎力を、自己表現・自己発信するための道具ととらえる意識を確実にするため、その道具を実際に使ってペアやグループで話す練習を多くします。
・発信するための情報を論理的、具体的、効果的に組み立てる技能の基礎を習得するため、短い文章を書く練習を多くします。
・学んだことを振り返りながら自主的に向上心を持って実践する態度を育てるため、自己評価、他己評価をします。

３　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・目的や場面、状況などに応じた表現を理解している。また効果的に発信するための論理の組み立て方を理解している。表現と論理を関連付けて発信する技能を習得している。	・　具体的な課題に対して自分の意見を発信するために、必要な情報を整理しながら考えを形成し伝える要点や意図などを明確にしながら、論理的に表現する能力を身につけている。	・　学んだことを身につけるために、粘り強く課題や練習に取り組む。また自分の取り組みの過程や結果を振り返り、自らの学び方を調整しようとしている。

４　評価規準と評価方法

	知識 ・技能　a	思考 ・ 判断 ・ 表現　b	主体的に学習に取り組む 態度　c
評価の観点	上に同じ	上に同じ	上に同じ
評価方法	以上の観点を踏まえ ・　ペーパーテストの分析 ・　スピーチ発表内容や発表技能の分析 ・　英作文の内容の分析 などから､総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ ・　ペーパーテストの分析 ・　授業ワークシートへの取組の分析 ・　スピーチ発表内容の分析 ・　英作文課題の内容の分析 などから､総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ ・　授業中の発言の観察 ・　ペアワーク等への取組の観察 ・　振り返りシートの記述の分析 ・　提出課題への取組の分析 などから､総合的に評価します。

５　学習計画

学期		単　元　名	時数	学　習　活　動　(指導内容)	評価の観点	評価方法
前期	中間考査Ⅰ	L１　I Love My Country! L２　The New Wave of Sports	１０	・現在完了形、過去完了形を使って表現する。 ・情報を追加したり感想を言うなどして、関連する話題で会話を続ける。 ・未来を表す表現を使い、週末の予定について会話をする。 ・好きな場所についての情報を加えて詳しく説明し、発表する。 ・週末の予定について会話をする。 ・助動詞表現を使う。	b c a b b c a b abc bc c	授業観察 ワークシート 振り返りシート

前期	中間考査Ⅱ	L 3 The Future of Technology L 4 Rediscover kabuki	１１	・受動態を使って表現する。 ・不定詞を使って表現する。 ・贈り物について情報や感想などを加えて説明する。 ・知覚動詞、使役動詞を使って表現する。 ・紹介する日本の文化についての情報などを加えて、詳しく説明する。	a c a c b c a c b c c	授業観察 ワークシート 振り返りシート
	期末考査	L 5　Will Our Lives Change with AL? L 6　Experience Madagascar's Wildlife	１３	・動名詞を使って表現する。 ・分詞構文、（with ＋ 0 ＋ 分詞）を使って表現する。 ・比較を使って表現する。 ・社会の状況と職業についての情報などを加え説明する。	a c a c a c b c c	授業観察 ワークシート 振り返りシート
後期	中間考査	L7　Can We Go and Live on Mars? L8　Language and Society	２１	・関係代名詞、関係副詞を使って表現する。 ・関係詞の非制限用法などを使って表現する。 ・仮定法過去、仮定法過去完了を使って表現する。 ・火星での生活について情報や感想を加えて詳しく説明する。 ・○○がない状況と現状との比較を加えて説明する。	a c a c a c b c c	授業観察 ワークシート 振り返りシート
	期末考査	L9　Send Our Love to the World L10　Follow in Our Hero's Footsteps	１５	・否定の表現を使う。 ・代名詞を使った表現を使う。 ・無生物主語構文を使って表現する。 ・that を使った表現を使う。 ・悩み事を使える会話をする。 ・社会問題について、関心のある人物について発表をする。	a c a c a c b c c	授業観察 ワークシート 振り返りシート

計　７０　時間（50 分授業）

※　領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「話すこと（やりとり）」	B「話すこと（発表）」	C「書くこと」
	３０　時間	２０　時間	２０　時間

※　増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6　課題･提出物等

・授業ごとのワークシートに丁寧に取組み、指示に従って提出することになります。
・自学としてワークブックに自主的に取組み、定期考査当日に提出することになります。
・単元または活動後に振り返りシートに記入し、提出。そして自分の次の活動に活かしましょう。

7　担当者からの一言

とにかく失敗を恐れずに活動しましょう。英語は自分の気持ちや考えを他の人に伝えるために、また人の考えを聞いて理解したり質問して理解を深めたりするために学びます。特にこの科目は、伝えるための効果的な方法　―　表現の組み立て方、声の出し方、書き方を習得する技能教科です。先生やうまい人のまねを何回もして、少しずつでも自分のものにしていってください。

（担当：高橋紀）

令和５年度シラバス（外国語）　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	英語(English Communication Ⅰ)	単位数	３単位	年次(コース)	１年次
使用教科書	三省堂『MY WAY English Communication Ⅰ』				
副教材等	三省堂『MY WAY English Communication Ⅰ WORKBOOK STANDARD』 『abceed 教科書エッセンシャルコース　マイウェイⅠ』 東京書籍『Listening Pilot Level１新訂版』 桐原書店『Data Base 3300』				

１　学習目標

日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，
1. 必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

２　指導の重点

① 基礎的な文法事項や語彙・表現の習得。
② 読んだり聞いたりした情報を正確に理解できるようにする。
③ 自分の考えを話したり書いたりして簡単に表現できるようにする。

３　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・　外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

４　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	上記　３　に同じ	上記　３　に同じ	上記　３　に同じ
評価方法	以上の観点を踏まえ、 定期考査・課題テスト・小テスト・単語テスト・提出物・週末課題・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ・基礎力診断テスト・授業への取り組み などから評価します。		

５　学習計画

月	単元名	時数	学習活動　(1)言語材料　(2)題材・場面　(3)はたらき	評価の観点
4	Starter	1	(1)品詞、動詞、語順・文型、句節	a
4	辞書を使ってみよう	1	辞書の使い方	a
4	Lesson　1　Proverbs Around the World	9	(1)現在形・過去形 / 進行形 / SVO(O=that 節) (2)ことわざ、比較文化 / 講義・学校生活 (3)説明する / 相づちを打つ	ab ac bc

月	単元名	時数	学習活動　(1)言語材料　(2)題材・場面　(3)はたらき	評価の観点
4 5	Lesson 2　Iwago Mitsuaki -An Animal Photographer	9	(1)助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身 (2)自然、共生 / インタビュー・学校生活 (3)主張する / 理由を述べる	ab ac bc
5	additional corner	2	writing, speaking, sounds, vocabulary	ab
6	Lesson 3　Sending Canned Mackerel to Space	9	(1)動名詞 / to 不定詞の名詞的・副詞的・形容詞的用法 (2)若者、食文化 / 新聞記事・学校生活 (3)説明する / 質問する	ab ac bc
6 7	Lesson 4　Messages from *Winnie-the- Pooh*	9	(1)現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去進行形 (2)芸術、異文化 / 本、プレゼンテーション・学校生活 (3)推論する / 質問する	ab ac bc
7	additional corner	2	writing, speaking, sounds, vocabulary	ab
9	Lesson 5　Endangered Languages	9	(1)関係代名詞（主格、目的格、what）/It is…to 不定詞 (2)ことば、比較文化 / インタビュー・学校生活 (3)話題を発展させる / 主張する	ab ac bc
10	Lesson 6　A Wheelchair Traveler	10	(1)現在分詞・過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is…that (2)異文化、生き方、共生 / ブログ・旅行・地域での活動・電子メール (3)描写する / 理由をたずねる	ab ac bc
10	additional corner	1	sounds, vocabulary	ab
11	Lesson 7　The Fugees	10	(1)関係副詞 where, when, why / 比較級・最上級 (2)平和、共生、スポーツ / レポート、新聞・地域での活動 (3)描写する / 誘う	ab ac bc
12	Lesson 8　Avatar Robots	10	(1)条件を表す if 節 / 仮定法過去 / I wish ～ / as if～ (2)科学、生き方、共生 / 科学雑誌 (3)理由を述べる / ほめる	ab ac bc
12	additional corner	1	writing, speaking	ab
1	Lesson 9　Kadono Eiko and the Power of Imagination	10	(1)SVO102(O2=how to ～) / SVO＋to 不定詞 / SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞) (2)人物、生き方 / 講義・家庭での生活 (3)説明する / 反対する	ab ac bc
1 2	Lesson 10　SDGs-Sustainable Development Goals	7	(2)地球環境 / プレゼンテーション・学校生活 (3)報告する / 理由を述べる	ac bc
2	Reading　The Tale of Johnny Town-Mouse	5	(2)物語 / 本 (3)描写する	a

計 105 時間（50 分授業）

※　領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A「聞くこと」15 時間	B「読むこと」25 時間	C「話すこと[やり取り]」25 時間	D「話すこと[発表]」25 時間	E「書くこと」15 時間

6　課題･提出物等

定期考査（ワークブックなど）や春、夏、冬休みごとの課題や単語練習シートやエッセイなど

7　担当者からの一言

English Communication I では、基本的な文法や語彙の習得を目指しつつ、日常的あるいは社会的な話題について、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取りや発表）、書くことの練習をします。コミュニケーションの取り方も練習しましょう。

（担当：高橋）

令和５年度シラバス（外国語）　学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

教科(科目)	英語(English CommunicationⅡ)	単位数	４単位	年次(コース)	２年次
使用教科書	三省堂『MY WAY English CommunicationⅡ』				
副 教 材 等	三省堂『MY WAY English CommunicationⅡ WORKBOOK STANDARD』『abceed 教科書エッセンシャルコース　マイウェイⅡ』 東京書籍『Listening Pilot Level２新訂版』 三省堂『クラウンチャンクで英単語Standard』『クラウンチャンクで英単語ドリルノートStandard ①』				

1　学習目標

日常的・社会的な話題について，一定の支援を活用すれば，

1. 必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握したり，概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握したり，概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり，聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。
4. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。
5. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2　指導の重点

① 情報や考え、気持ちなどを理解するのに必要な文法事項や語彙・表現の習得。

② 聞いたり読んだりした情報や考え、気持ちなどを理解できるようにする。

③ 聞いたり読んだりした情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝えることができるようにする。

3　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・　外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4　評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能　a	思考･判断･表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	上記　３　に同じ	上記　３　に同じ	上記　３　に同じ
評価方法	以上の観点を踏まえ、 定期考査・課題テスト・小テスト・単語テスト・提出物・週末課題・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ・基礎力診断テスト・授業への取り組み などから評価します。		

5　学習計画

月	単元名	時数	学習活動　(1)言語材料　(2)題材・場面　(3)はたらき	評価の観点
4	Lesson 1 Dances Around the World	10	(1) SVO (O=that/what 節)　/ SVO (O=if/whether 節)　/ SVO102 (O2=if/that/what 節) (2) ダンス、比較文化 / レポート・学校生活 (3) 相づちを打つ主張する	ab ac bc
4 5	Lesson 2 Katsura Sunshine － Making the World Laugh	10	(1) 形式主語のit / 形式目的語のit① / 形式目的語のit② (2) 日本文化、比較文化 / インタビュー・学校生活 (3) 話題を発展させる　説明する	ab ac bc
5	additional corner	2	writing, speaking, sounds, vocabulary	ab
6	Lesson 3 Living with Nature － Takita Asuka’s Journey	10	(1) 現在完了形・現在完了進行形 / 過去完了形 / 過去完了進行形　共生、平和 / (2) 講演・学校生活 (3) 心配する　理由を述べる	ab ac bc
6	additional corner	1	across subjects	ab

月	単元名	時数	学習活動 (1)言語材料 (2)題材・場面 (3)はたらき	評価の観点
6 7	Lesson 4 Sesame Street	12	(1) SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=使役動詞 have/make、C=過去分詞) / help+O+動詞の原形 (2) 多様性、異文化 / 雑誌記事・学校生活 (3) 聞き直す 説明する	ab ac bc
7	additional corner	2	writing, speaking, sounds, vocabulary	ab
9	Lesson 5 From Landmines to Herbs	12	(1) 関係代名詞 (主格) / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法 (2) 平和、異文化 /雑誌記事・地域での生活 (3) 提案する 説明する	ab ac bc
10	Reading 1 The Little Prince	11	(2) 物語/本 (3) 描写する	a
10	Lesson 6 Murals—The Power of Public Art	12	(1) 助動詞 / 助動詞の過去形を使った表現 / 助動詞+have+過去分詞 / 完了不定詞 (2) 芸術、異文化 / レポート、学校生活 (3) 描写する 理由を述べる	ab ac bc
10	additional corner	1	sounds, vocabulary	ac
11	Lesson 7 “Englishes” in the World	12	(1) 分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 付帯状況with (2) 言語、異文化 / 講演・学校生活 (3) 助言する 理由を述べる	ab ac bc
12	additional corner	1	across subjects	ab
12	Lesson 8 Deepika Kurup — The Science Behind Clean Water	12	(1) 仮定法過去 /仮定法過去完了 / if を使わない仮定法 / no matter+疑問詞 (2) 科学、環境、生き方/ インタビュー・地域での活動 (3) 仮定する ほめる	ab ac bc
1	Lesson 9 The World’s Poorest President	12	(1) 同格を表すthat節 / 強調構文 / 倒置/ 省略 (2) 人物、生き方 / 雑誌記事・日常生活 (3) 共感する 説明する	ab ac bc
	additional corner	1	sounds, vocabulary	ac
2	Lesson 10 Living in an E-Society—The Pros and Cons	8	(2) デジタル社会 / 討論 / 日常生活 (3) 主張する 賛成する 反対する 理由を述べる 共感する	ac bc
3	Reading 2 Syria’s Secret Library	10		a

計140時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「聞くこと」	B「読むこと」	C「話すこと[やり取り]	D「話すこと[発表]」	E「書くこと」
	30時間	40時間	25時間	25時間	20時間

6 課題･提出物等

定期考査ごとの課題 (ワークブック等) や週末課題 (単語ドリルノート) など

7 担当者からの一言

English CommunicationⅡでは、基本的な文法や語彙の習得を目指しつつ、日常的あるいは社会的な話題について、聞くこと、読むこと、話すこと (やり取りや発表)、書くことの練習をします。たくさん聞いて、たくさん話しましょう。

(担当：渡辺)

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス　（外国語）

教科(科目)	外国語（コミュニケーション英語Ⅲ）	単位数	４単位	学年(コース)	３年次（人文自然系列）
使用教科書	*Power On English Communication Ⅲ*（ 東京書籍 ）				
副教材等	*Power On English Communication Ⅲ WORKBOOK*（ 東京書籍 ） *Hyper Listening Elementary 4th Edition*（桐原書店） 英文法演習ドリル（旺文社） 基礎力養成コア表現トレーニング（旺文社）　*DataBase3000*　基本英単語・熟語（桐原書店）				

１　学習目標

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを適切に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

２　指導の重点

① コミュニケーションに必要な基本的な語彙・文法の定着を図る。
② 読んだり聞いたりした内容について、適切に概要を理解できるようにする。
③ 読んだり聞いたりした内容について、自分の考えと理由を相手に伝えられるようにする。

３　学習計画

学期	区	単元（主要学習領域）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	L. 1 ~ 5　(Reading Skills) L. 6 Where Does Halloween Come from?	英文読解・音読練習 リスニング・語彙、文法 コミュニケーション活動	22	定期考査 課題考査 小テスト ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ 提出物、観察
	中間Ⅱ	L. 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think L. 8 A Nature Photographer in Alaska		24	
	期末	L. 9 The History of English Tea L. 10 Water and Living Things L. 11 The 10,000-Hour Rule		30	
後期	中間	L. 12 A Conductor of the Underground Railroad L. 13 English, Always Growing	英文読解・音読練習 リスニング・語彙、文法 コミュニケーション活動	30	定期考査 課題考査 単語テスト ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ 課題、観察
	期末	L.14 Jose Mujica, the World's "Poorest" President Ever L. 15 Understanding the Culture of Dogs		34	

計 140 時間（50 分授業）

４　課題・提出物等

長期休業中課題、単語練習プリント、ワークブック、問題集等

５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います。）

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
○英語を読んだり聞いたりし、話し手や書き手の伝えたい内容を理解できる。 ○英語で読んだり聞いたりした内容について、自分の考えを英語で伝えることができる。	○英問や問いかけに、口頭で適切に回答できる。 ○自分の考えや意見が正確に伝わるように発表できる。 ○対話練習や話し合いで、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	○英語を読んだり聞いたりし、話し手や書き手の伝えたい内容を理解できる。 ○英語で読んだり聞いたりした内容について、必要な情報を正確にとらえ、整理できる。	○英語を読んだり聞いたりし、その背景にある社会的な状況や事情を理解できる。 ○学習した表現や文法事項を用いて、英語で話したり書いたりできる。

６　担当者からの一言

この授業では、学習や練習の結果として「○○ができるようになる」ということを重視します。知識を身につけるだけではなく、英語での発表ややりとりを通し、自分と異なる意見や考えに触れてください。積極的かつ前向きな態度で課題や仲間と向き合い、異文化に対する寛容な姿勢を身に付けながら、英語力とコミュニケーション能力を高めましょう。　（担当：岩見・渡邊裕）

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス　（外国語）

教科(科目)	外国語（英語会話）	単位数（時間）	２単位（70 時間）
学年(コース)	２・３年次（人文・自然系列）		
使用教科書	*SELECT　English Conversation*（三省堂）		
副教材等	*My First PASSPORT 2*（Oxford University Press）		

１　学習目標

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、未知の語の意味を推測したりしながら、話し手や書き手の伝えたいことの概要を理解するとともに、自分の考えと理由を簡潔に即興で伝えることができる。（CAN-DO リスト, 2018 より）

２　指導の重点

①　主に英語を聞いて、話し手の伝えたいことを適切に理解できるようにする。
②　自分のことや聞いたことなどについて、発表や相手とのやりとりをできるようにする。

３　学習計画

学期	区	単元（主要学習領域）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	L. 1 New Friends L. 2 Free Time	・自己紹介 ・趣味・余暇	12	①筆記テスト ②リスニングテスト ③パフォーマンステスト ④観察
	中間Ⅱ	L. 3 Are You Okay? L. 4 Our School L. 5 Weather	・体調について ・学校について ・天候	12	
	期末	L. 6 TV Programs L. 7 Talking on a Cell Phone	・好きなテレビ番組について ・携帯電話でのやりとり	14	
後期	中間	L. 8 Telling the Way L. 9 Kyoto L. 10 Shopping	・道案内 ・観光案内の仕方 ・買い物での表現	14	①筆記テスト ②リスニングテスト ③パフォーマンステスト ④観察
	期末	L. 11 Restaurant L. 12 Making a Plan L. 13 Future Jobs	・レストランでの表現 ・約束の仕方 ・将来やりたいことについて	18	

計 70 時間（50 分授業）

４　課題・提出物等

授業時のコミュニケーション活動・各単元と学習活動に基づくパフォーマンステストの準備・提出物等

５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います。）

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
○主に英語を聞き、話し手の伝えたい内容を理解しようとしている。 ○主に英語で聞いた内容について、英語で応答したり自分の考えを伝えたりしようとしている。	○英問や問いかけに、口頭で適切に回答できる。 ○自分の考えや意見が正確に伝わるように発表できる。 ○対話練習や話し合いで、相手の理解を確認しながら適切な発言が出来る。	○主に英語を聞き、話し手の伝えたい内容を理解できる。 ○主に英語で聞いた内容について、必要な情報を正確にとらえ、整理できる。	○主に英語を読き、その背景にある状況や事情を理解できる。 ○学習した表現を聞いて理解できる。

６　担当者からの一言

英語会話の授業では、英語で「話し手の伝えたいことを理解できるようになる」ということと「自分の伝えたいことを伝えられるようになる」という２つを重視します。そのために、日常生活のさまざまな場面で使われる表現を学び、練習を行います。また、「学ぶ」だけでなく「できるようになる」という観点から、パフォーマンステストを行い、評価をします。間違いを恐れずに英語を使い自分の英語力を磨いてください。

（担当：岩見）

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス　（外国語）

教科(科目)	外国語（英語表現Ⅱ）	単位数	４単位	学年(コース)	３年次（人文・自然系列）
使用教科書	*Vision Quest English Expression Ⅱ Hope*　（啓林館）				
副教材等	*Vision Quest English Expression Ⅱ Hope NEW WORKBOOK*　（啓林館）				

１　学習目標

① 英語表現Ⅰで養った能力を伸ばし、「話すこと」「書くこと」を発信する力を身につける。
② 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を身につける。

２　指導の重点

① 実際に英語を書いたり話したりしながら、文法事項や表現の習得を目指す。
② 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、伝えることができるようにする。

３　学習計画

学期	区	単元（主要学習領域）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	Part1 Lesson 1 行事・習慣	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語	２０	定期考査 小テスト ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ 提出物等
		Lesson 2 職業体験	自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC		
		Part2 Lesson 1 ロボットの有用性	パラグラフの構成／列挙・順序		
	中間Ⅱ	Part1 Lesson 3 ｻﾌﾟﾗｲｽﾞﾊﾟｰﾃｨｰ	使役動詞／知覚動詞／動詞＋O＋to *do*	２６	
		Lesson 4 就きたい職業	「～する」／「～している」 「～した」／「～していた」		
		Part2 Lesson 2 英語を学ぶ意義	例示・追加		
	期末	Part1 Lesson 5 お金があれば	義務・必要・推量の助動詞／仮定法	３０	
		Lesson 6 旅行の思い出	分詞／関係代名詞／関係副詞		
		Part2 Lesson 3 都会と田舎	比較・対照		
後期	中間	Part1 Lesson 7 携帯電話の是非	副詞・副詞句／副詞節	３２	定期考査 小テスト ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ 提出物等
		Lesson 8 犬好き？猫好き？	原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現		
		Part2 Lesson 4 若者の本離れ	原因・理由・結果		
	期末	Additional Lesson	総合演習	３２	
		Part2 Lesson 5 ベジタリアン	要点・要約		

計 140 時間(50 分授業)

４　課題・提出物等

小テスト・提出物等

５　評価規準と評価方法（評価は次の観点から行います。）

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英文の内容やそれに関する話題について、英語で聞いたり読んだりして話し手や書き手の意図を理解することができる。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

６　担当者からの一言

英語表現Ⅰで学習した内容を基にして、自分が伝えたい内容を英語で表現したり、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えたりすることを目指します。できるだけ多くの英語表現を身につけて、情報や考えなどをまとめ、場面や目的に応じて英語で表現できるように、毎日の予習・復習以外にも多くの英語に触れて英語運用能力の向上に努めてください。　（担当：岩見）